

ISOLAB 2005 体験記

高田 匠

京都大学 理学研究科 放射線生命科学分科博士課程

takumi@HL.rri.kyoto-u.ac.jp

6/27 から 7/2 まで、新潟市の朱鷺メッセにて行われた学会 (ISOLAB 2005) の体験記です。新潟市ですが、なによりも涼しく快適な気候で過ごしやすかったです。学会会場の朱鷺メッセは施設自体が非常に新しく近代的な作りであり、まさに今回、Astrobiology との融合学会をはじめと取り行うのにふさわしい場所でした。学会全体の参加者人数はサテライトミーティングも合わせて 300 人を越えていたと聞きました。

今回の学会において、私が興味を持っていたのは専門でもあります D-アミノ酸によるキラルワールドであり、初日の PALYI 先生によりますユニークなレクチャー、左右田先生、井上先生各氏によるシンポジウムなどが、非常に参考になり、今後、研究を続けて行くにあたり非常に重要であると思われます。その他には、生命の起源の研究の現在の主流である RNA ワールドなどがやはり非常に盛況であったように思われます。そして今回これまで馴染みは無かったのですが、Astrobiology 分野の方々の発表も、興味深いものが多く、今後も本学会に参加したことをきっかけとして様々な分野の研究者たちと交流できればと思いました。

生命の起源に関する話題だけではなく、地球外の生命の起源、進化、分布などの惑星科学的な研究など、これまでにない新しい学問も数多く体験する事ができ、非常に意義あるものとなりました。これまでも生命の起源に関するアプローチは色々ありましたが、今後この学会を経て国内外共に益々生命の起源に関する研究が発展し、様々な謎が解き明かされますよう学会と共に歩んでいきたいと思ひます。

最後に学会に参加するにあたり、参加補助を頂きました生命の起原および進化学会に感謝します。また、そのときにお世話になった島田先生、藤井先生、ならびに学会誌への、様々な質問に答えてくださった木野内先生、斉藤先生、江藤さん、有り難うございました。